

## ■写真パネル・各種資料貸し出し

東日本大震災の啓発活動に役立てていただくため、希望する団体・事務所等に以下の貸し出しを実施しました。

- ・ 発災直後やその後の山田町の様子（現地スタッフ撮影）および「みえ発！ボラパック」の活動を記録した写真パネル
- ・ 事務局が所有する震災関連 DVD や書籍



## ■講師派遣

地域や学校等から、被災地でのボランティア経験者への講演依頼があった場合、ボラパック参加者に講師を依頼し、活動経験を話していただきました。「東日本大震災」や「ボランティア」について、伝え考えていただく機会となりました。

# 情報発信

みえ災害ボランティア支援センターでは、以下の様々な媒体を使い情報発信をしました。

### ■ホームページ <http://mvsc.jp>

ボラパックⅡ参加者募集・活動報告、みえで仲間をつくり隊活動報告など、各種情報を掲載。他団体のイベント情報提供もしました。

### ■ツイッター

- ・ 事務局スタッフアカウント [mvsc\\_jimukyoku](#)  
ボラパックⅡガイダンスや各種イベントの様子のほか、山田町を中心とした被災地の「今」の話題をツイート。

- ・ 山田町スタッフアカウント [mvsc\\_yamada](#)

山田町の現地スタッフ中心に、「今」の山田の状況やボラパックⅡの活動の様子などをお届けしました。

- フェイスブック <http://www.facebook.com/mvsc0311>  
ホームページおよびツイッターと連携した情報の発信。

### ■ニュースメール（不定期配信）

ボランティア募集、震災支援・防災関連イベントなどのお知らせをお届けしました。

# 他の地域への災害ボランティア活動支援

東日本大震災以降も、豪雨・豪雪や台風など、国内外各地で様々な災害が起こりました。

大規模な災害の発生時には、多くのボランティアが被災者・被災地の大きな力となります。それらのボランティア活動が円滑に行われるよう、様々な形で支援活動を行うのがみえ災害ボランティア支援センターの役割です。

今年も東日本大震災の支援活動を継続しつつ、発災時のボランティア募集等の情報発信や、9月の台風18号で被災した伊賀地域の災害ボランティアセンターへの人的支援などを行いました。

## ■主な活動支援

- ・ 4月6日 暴風雨に関する注意喚起情報提供
- ・ 7月28日 山口・島根豪雨の災害ボランティア活動に関する情報提供
- ・ 台風18号災害のボランティア活動に関する情報提供
- ・ 台風18号災害への対応のため、伊賀市災害ボランティアセンターへの人的支援を実施。



# 東日本大震災 継続支援団体交通費助成事業

三重県を拠点とし、現地への継続した支援活動を行っている団体への交通費の一部助成を通じて、より多くの方々が東日本大震災の被災地を訪れ支援活動を行う機会を増やすとともに、その活動を通じて参加者の防災・減災意識の向上に寄与することを目的として、この助成事業を実施しました。助成した4団体には、それぞれの活動を通じて、現地および参加者との交流が深められたとともに、支援活動に参加された方々にも貴重な気づき・学びの場となりました。

## ◆防災一座（所在地：四日市市）

代表：松野 博さん

活動期日：5月2日～5月5日

人数：24名

活動内容：“みんなでお祭りに行こう！”宮城県女川町熊野神社例大祭大作戦！

代表者の一言：震災後、支援活動をしている中で、「今年の春祭りは三重のみなさんに協力してほしい！」とのお声掛けをいただいたことを契機に、女川流お祭り参加型観光産業の礎づくりにつながればとの思いから、昨年に引き続き実施しました。観光産業としての位置づけとまちの活性化につながれば、まちの復興にあわせて、産業として育っていく可能性があるのではと思います。その強い思いから、今年も、お祭りに参加し、思い出をつくり交流を深めあってきました。



## ◆ほがらか絵本畑（所在地：菰野町）

代表：三浦 伸也さん

活動期日：7月11日～7月14日

人数：20名

活動内容：“被災地保育交流ツアー in 陸前高田（9ヶ所の保育園にて活動）”

ふれあい教室の園庭でバーベキュー・ダンス・合唱等の交流会

代表者の一言：信頼関係の構築に努め、3回目にしてようやく陸前高田市と三重県の保育士との交流会が実現できました。1,000キロ先に保育士仲間ができ、その仲間同士が交流し合い、子ども達のために切磋琢磨する関係づくりのスタートがようやく叶いました。今後は、支援する・されるという関係を越えて、継続的な関係へとつなげていきたい。



## ◆あすなろ応援便（所在地：鈴鹿市）

代表：樋口 博也さん

活動期日：7月26日～7月29日

人数：15名

活動内容：“夏まつり実行隊” 実施会場：宮城県気仙沼市、岩手県陸前高田市にて

代表者の一言：鈴鹿市を26日夜、大型トラック・マイクロバスの計2台で出発し、陸前高田市へ。陸前高田市では、仮設団地の集会所周辺にて、また気仙沼市では

開発総合センター施設を借用して、夏まつりを開催しました。会場内では、物資配布ブース・飲食ブースを設置し、特に飲食ブースでは、炊き出しの準備などに現地の高齢者の方のご参加をいただき、大いに盛り上がりました。地元の方との一体感を強く感じることができ、「草の根交流」が広がってきていることを実感させていただきました。



## ◆心和む蓄音機ホーン演奏会（所在地：亀山市）

代表：服部 佳輝さん

活動期日：9月21日～9月29日

人数：3名

活動内容：“心和むレコード演奏会”

演奏会会場：岩手県陸前高田市・大槌町・山田町、福島県相馬市、宮城県石巻市にて

代表者の一言：震災以降の大変な状況の中、“戦後復興期の流行歌、ご当地の民謡など”

を通して、かつての時代に思いを馳せて、若々しい元気な気持ちになって頂けたのではと思っています。被災地の現状をみて、心と心を結ぶ交流活動が今後より欠かせないものになるのではと強く感じました。また、今回の活動が今後のより充実した交流活動のための環境づくりにつながっていくものと思っています。

